2010 年 7 月 29 日
野村不動産ホールディングス株式会社
（コード番号：3231　東証第一部）

報道関係者各位

2011年３月期第１四半期連結決算のお知らせ

野村不動産ホールディングス株式会社（本社：東京都新宿区　取締役社長：鈴木　弘久）は、本日、2011年３月期第１四半期連結決算（2010年４月１日～2010年６月30日）を確定いたしましたので、お知らせいたします。なお、詳細については、「平成23年３月期　第１四半期決算短信」を併せてご参照ください。

＜ハイライト＞

■2011年３月期第１四半期における連結業績は、売上高が584億円（前年同期比43.5％減）、営業利益が45億円（同73.8％減）、経常利益が７億円（同94.6％減）、四半期純損失が△６億円（前年同期の四半期純利益は71億円）となりました。前年同期比で売上高・利益が大きく減少した要因は、住宅事業セグメントにおいて、前年同期には高収益かつ大規模の分譲マンションの売上計上があったことに加え、当期における売上計上（引渡）戸数の約7割が第４四半期に集中すること等によるものであります。なお、上記の連結業績は、本年４月の決算短信にて発表した連結業績予想に対し、概ね想定どおりの進捗であります。

■住宅事業セグメント・・・マンションと一戸建てを合わせた住宅分譲部門では、売上計上（引渡）戸数が前年同期比で448戸減の295戸と大幅に減少したことから、売上高は前年同期比で77.8％減の128億円となりました。なお、昨今の住宅マーケットの回復を受け、今期の売上計上予定4,700戸に対する６月末時点での契約済住戸の比率は、58.8％（前期末比37.2ポイント増加）となり、順調に推移しております。

■ビル事業セグメント・・・テナントのコスト削減意識の高まりを背景に、オフィスニーズが低迷する中、６月末時点の空室率は5.8％となり、前期末（2010年３月末）から1.0ポイント上昇いたしました。これは主に、新規稼働ビルのテナントリーシングの遅れに伴う空室面積の増加等によるものであります。

■業績予想・・・本年４月に発表した第２四半期連結累計期間、および通期の業績見通しにおける予想数値に変更はありません。

以　上

（添付資料）
平成23年３月期　第１四半期決算短信

本件に関するお問い合わせ窓口
野村不動産ホールディングス株式会社　広報IR部（石川・津賀・平野）
TEL03－3348－8117　・　FAX03－3343－0445